

集落内開発制度について

坂本 武人 議員

都市建設部長 一部指定に外れた地区も合わせますと、旧合志で中林、新古閑、新迫、旧西合志で小合志、黒松、城がそれにあたります。それから総面積は18の指定区域で約1千74 ha、また筆数は約1万8千5百筆認を頂きたい。



坂本 今回条件を満たす地域は全て区域指定を行っていると思うが、その総面積及び筆数はいかに上るのか伺いたい。また今回、条件に満たず、指定に漏れた地域があれば確認を頂きたい。

坂本 集落内開発制度が6月より運用開始となる。2年前から一般質問で制度について議論してきているが、運用開始に際し、改めてどういった制度なのか説明を願いたい。

都市建設部長 これまで市街化を抑制し住宅等の建築を厳しく制限されていた市街化調整区域内において、50戸以上が連続している集落で、建物の敷地面積が50㎡以内にあたる地域に、住宅及び500㎡以内の店舗等が農業者以外でも誰でも建設が可能になるといって制度であります。

坂本 集落内開発制度の目的は、調整区域内の人口減少傾向を食い止める、活性化を促すことにあり、重視したいものだが、市長は既存集落の将来展望をどのようにお考えなのか伺いたい。

市長 農地保全は前提として、以外の区域は相応の活用が必要だと感じていますので、総合的なバランスを考えながら土地利用を進めてまいります。



福祉会館の在り方について!

来海 恵子 議員

来海 福祉会館(ワイプル内)の位置づけはどうなっていますか。

健康福祉部長 福祉会館は、条例で市民の福祉を高め、心身の健康と教養の向上を図るため設置する所ありますが、新市になってからは社会福祉協議会の支所として指定管理者の指定を行っており、現状は、風呂の利用と貸し館業務がほとんどで、旧町時代の福祉の拠点という機能は、福祉センターみどり館に移っているのが現状です。

来海 福祉会館の利用者数と、年間の維持費は。

健康福祉部長 平成18年度が1万6千1百94件、社会福祉協議会に委託料として41万5千円支払っています。平成19年度は1万7千4百74件で委託料は同じです。

来海 風呂の入浴者数・料金収入との費用支出はどうなっていますか。

健康福祉部長 平成18年度の風呂の利用者数は一日平均約13件、年間の利用料金は97万1千円、入浴料金は市内2百円、市外4百円です。平成19年度の利用者数は一日平均約11件、年間利用料金は85万5千6百円です。重油代と清掃費については、ワイプル本体と分



入浴者のいない広々とした福祉会館の風呂



来海 ワイプルが管理しているも福祉会館を運営している以上、どれくらい費用がかかっているか把握しておくべきではないでしょうか。

一応、水道・電気・重油・清掃などを面積換算してもらえると、年間約460万円かかると聞きます。利用者減、経費がかさむ中で、費用対効果も考え、多くの方の利用を得るために風呂を改装して、別の用途に利用できるのではないのでしょうか。

健康福祉部長 風呂の利用を中止して旧合志地区の福祉の多機能窓口、例えば地域包括センターの分室や、要支援者等のデイサービスの施設として利用すればと思っております。

頑張れ日本

吉永 健司 議員

吉永 教育基本法、三法が改正され指導要領も改訂される。見解は。また、改正では第2条の5で「我が国と郷土を愛する」と道徳教育を強く明記された。日本に生まれ育った日本人であるが、国旗を語ればアレルギーを示す方もいるが市長室に国旗は掲揚してあるのか。公共施設では国旗、市旗を常掲すべきでは。また、日本語が大変乱れてきている現在、国語の教諭だけで大丈夫か。

教育長 指導要領の改訂では基礎学力を身につけることを重要視し、文化と伝統、国際社会人としての知識を育て、心情面や判断面などの心の教育をしっかりとやる事と捉え、国旗は生涯学習施設では、基本的には常掲をしている。学校施設では休校日以外は常掲する状況になる。国語が乱れている事は事実である。

市長 掲揚していない。施設は現状を研究してみたい。



合志庁舎に常掲されている国旗・市旗

横断)の現状と対策は。また大豆、麦の新規作付け(緑ゲタ)に不公平感の声や米に対する対策は。

産業振興部長 販売価格の低迷による生産コストに合わない部分があり、いかに収益のなる作付けにしていきたい。19年度より県担い手育成総合支援協議会より収入減少緩和対策として価格補填制度がある。



入札制度及び工事発注の現況について!

木場田孝幸 議員



木場田 入札制度及び工事発注の現況にて、総合評価方式の導入についての指導は、又、今後の対応は。

総務企画部長 国土交通省による地方公共団体向けの、総合評価マニュアル等が示され、市町村向けの簡易型、総合評価方式導入が求められ県からの呼びかけ指導もあります。社会資本の確かな品質を確保する事や、技術と経営に優れた地域に貢献する建設会社の発展、地域力アップにもつながると考えられる為、今後検討を進めて行きたいと考えています。

市長 総合評価方式は、いろいろな角度から見て業者選定をすることでありますがこれについては、職員の経験、力量も必要のために担当部署、企画財政課や現場の主管課に十分勉強させたいと思います。

市長 地場企業育成は再三話している。分離発注して、多くの業者さんへと、考えています。今後もう一層、地場企業の育成、技術力の向上等に含めて考えていきたいと思っています。



西合志中学校 市が発注する公共工事 側溝整備

木場田 市発注工事による、地場企業の育成をどう考えているのか。

総務企画部長 健全な中小企業の育成は重要であると理解し地元業界を中心に競争原理を生かして中小企業の育成を図ることが出来るよう、今後取り組みたい。